令和7年度　学校経営方針

沼田市立白沢中学校長　阿部　かおる

令和7年度　沼田市教育行政方針　［基本理念］

沼田市教育委員会は、豊かな心、たくましい意志、高い知性、優れた創造力をもった、心身ともに健康で活力ある人間の育成を目指して、教育行政を推進します。

このため、

一　市民一人一人の個性や能力を生かすことを大切にします。
一　郷土を愛する心、他を思いやる心などの道徳性を培います。
一　社会の変化に主体的に対応する力を育みます。
一　国民的自覚と国際協調の精神を養います。

1　学校の教育目標

自ら正しく判断する力を養い、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を期する。

2　目指す具体像

＜目指す生徒像＞　自分で考え、判断・決定し行動できる生徒

〇自主：正しく行動できる生徒
〇勤勉：ねばり強く学ぶ生徒
〇奉仕：人のためにつくす生徒
◎友愛：温かな心をもった生徒【重点】
〇健康：心身ともに鍛える生徒

＜目指す教職員像＞　学び合い、励まし合い、高め合い、学び続ける教職員

〇やる気と情熱をもち、生徒のよさを伸ばす教職員
〇常に専門性の向上を目指し、学び続ける教職員
〇生徒、保護者、地域を大切にし、信頼される教職員

＜目指す学校像＞　互いに認め合い、みんなの笑顔が輝く白沢中

〇生徒が学び合う楽しい学校　　〇教職員が働きがいのある学校
〇保護者が安心して通わせたい学校　　〇地域が応援したい学校

スローガン　「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出そう！」

3　経営方針

〇全教職員が力を合わせて主体的・組織的に学校経営に参画する協働体制の確立
〇「勤勉：ねばり強く学ぶ生徒」を育成するための、授業を核とした探究的な学習活動の充実
〇「友愛：温かな心をもった生徒」を育成するための、道徳教育の充実と心の教育の推進
〇「健康：心身ともに鍛える生徒」を育成するための、運動への主体的な取組と保健教育の推進
〇一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
〇地域とともにある学校づくりを目指した、家庭や地域との連携・協働

4　構想図

＜学校の教育目標＞

自ら正しく判断する力を養い、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を期する。

＜目指す生徒像＞　**自分で考え、判断・決定し行動できる生徒**

＜目指す学校像＞　**互いに認め合い、みんなの笑顔が輝く白沢中**

スローガン　**「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出そう！」**

○確かな学力の育成

・培う力を明確にした探究的な学習を実践し、生徒が自ら学ぶ力を育む。

・的確な学習状況の把握と個に応じたきめ細かな指導（指導と評価の一体化）を充実させることで、生徒の学びに向かう力を高め、粘り強く学習に取り組ませる。

・１人１台端末等の ICT 環境を効果的に活用し、「分かる・できる・学び合う」授業づくりに努め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。

○特別支援教育の充実

・個別の教育支援計画や個別の指導計画に基づき、個々の教育的ニーズに応じた支援について学校全体で共通理解する。

・保護者との情報共有や専門家・関係機関との連携に努め、教育支援及び就学指導の効果を高める。

・教職員の専門性を高め、すべての生徒が参加し活躍できる授業を目指し、ユニバーサルデザインと合理的配慮を意識した授業づくりに努める。

○豊かな人間性の育成

・生徒主体の活動や学校行事等、生徒が活躍する場面を設定し、自己有用感を高めるとともに、自他のよさを認め合う人間関係を形成する。

・「考え・議論する」道徳の時間の質的な充実に向けて授業を工夫・改善するとともに、道徳科の授業を要とし教育活動全体を通して道徳教育を推進する。

・人権教育と生命を尊重し力強く生き抜こうとする心を育てる指導の充実（「SOS の出し方に関する教育」）により、いじめや差別を許さない心を育てる。

・不登校の未然防止や不登校傾向生徒への適切な対応等、課題予防的生徒指導の徹底と関係機関との協働体制による教育相談活動を充実させる。

・「市 SNS ルール」や「白沢中 SNS ルール」を活用し、情報モラル教育の充実と家庭への啓発活動を推進する。

○地域とともにある学校づくり

・地域とともにある学校づくりに向けて、家庭・地域との連携を強化し、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）と地域学校協働活動を一体的に推進する。

・総合的な学習の時間を中心として、明確なねらいのもとに、地域の人的・物的資源（人・もの・こと）を積極的に活用し、地域学習や体験活動を充実させる。

○健やかな体の育成

・生徒の心身の健康の保持増進を図るために健康教育を計画的に推進するとともに感染症対策を徹底する。

・保健だよりや学校保健委員会等の取組を通して家庭と連携し、よりよい生活習慣の定着や健康の増進、体力向上を図る。

・体力向上プランに基づき、視点を明確にした教科体育や体育的行事、部活動指導を継続的に実践することで、体力の向上を図る。

・「部活動地域展開推進計画」を踏まえ、教育部活の理念に基づいた部活動を行い、副顧問の配置や外部指導者の招聘などにより、安全確保や技術面の向上を図る。

・各種避難訓練、交通安全教室等を通して、生徒自身の危機管理意識や危険回避能力を高める。

温かな学年・学級経営

すべての活動の基盤、心理的安全性の確保

風通しのよい温かな職場

「明るく誠実に　　一歩前進　　チームワーク」

教師こそ最大の教育環境